

生産販売部 果実花き課の取り組み
～令和7年度の重点推進事項について～

重点目標Ⅰ マーケットインによる生産基盤強化と系統集荷販売対策

目標1. リンゴ販売数量の確保

課題（1）生産量・系統集荷量・販売数量の減少

課題	対策	令和7年度目標
①生産実態の把握と生産性向上、集荷対策	①生産計画とりまとめ ②生産計画達成への技術的指導体制のフォロー（ＪＡ長野県営農指導者会議 果実専門部と連携した課題別等の講習会開催） ③継続した農家訪問の実施（ＪＡ集荷所への出荷誘導、販売企画の提案） ④特別集荷企画（ギフト、訳あり、簡易荷造り等）の提案、りんご三兄弟®・サンふじの集荷に向けた特別規格提案	①りんご販売数量 300 万ケース ②第一次生産計画とりまとめ（6月中）、以降年3回修正計画の集約 ③農家訪問 50 戸（新規 5 戸） ④特別販売企画 3 アイテム
②高温による着色不良・品質不良、ロスの増加	①遮光資材・多目的防災網の導入推進（補助事業の周知・活用） ②優良着色系統・品種・黄色系品種の推進 ③改植の推進（果樹経営支援事業の活用促進） ④ＪＡごと改植計画・目標策定と進捗フォロー	①りんご苗木供給目標 13 万本（フェザー苗含む）

課題（2）系統共販のメリットを生かした販売とブランド・認知度向上

課題	対策	令和7年度目標
①実需者営業の強化による計画的な売場づくり	①品種リレーによる売場づくりの計画的な事前提案（早生種からの集中宣伝会実施による早期売場確保と、晩生種までの売場づくり・安定販売） ②卸売会社、実需者など関係者に向けた品目・産地研修会の開催 ③店舗従業員に向けた品目・産地研修による理解・親近感の向上	①重点卸売会社・重点実需者との連携強化 ②1 県外協議会、1 実需者 ③重点実需者の店舗従業員対象
②消費量の維持・拡大につながる企画（ブランド力向上）	①各種商標を活用した県内産果実のPR ②量販店を中心とした店頭試食宣伝会の強化拡大 ③各種メディアや新たな宣伝手法の検討による系統商品の継続的なPR（集荷対策含め）	①店頭宣伝会実施目標のべ 400 店舗実施 ②県内ラジオ、パシファルアカウント活用（フォロワー 1 万人超え維持）、SNSを活用した企画づくり

目標 2. トルコギキョウ販売数量の確保

課題（1）夏場の暑さによる生産量の減少・品質低下

課題	対策	令和 7 年度目標
① 土壌病害によるロスの増加（生産性の低下） ② 夏場の品質低下	① 抵抗性品種の紹介・導入、土壌消毒の徹底 ② 高温対策資材等の導入推進（全生育期間を通じた遮光方法も検討）	① トルコギキョウ販売数量 670 万本

課題（2）生産性の向上

課題	対策	令和 7 年度目標
① 切花率の調査による個別課題の明確化と対策	① 圃場図作成と個別課題・巡回記録・品種別採花率の作成により、次期作の品種検討や、課題改善までを追跡・フォロー	① 年 2 回（生産技術、コミュニケーション、事例発表）
② J A 技術員の指導レベル向上、生産者への指導・伝達	① 技術員向け研修会の開催 ② 生産者に向けた技術や品種などの情報提供と生産意欲の向上対策	② 全県もしくはブロックでの生産振興研修会の開催

目標 3. アルストロメリア販売数量の確保

課題（1）県内 J A の技術レベル高位平準化

課題	対策	令和 7 年度目標
① 切花率の調査による個別課題の明確化と対策	① 全戸巡回による圃場図作成と個別課題・巡回記録の作成による改善まれの追跡・フォロー	① アルストロメリア販売数量 1,450 万本
② J A 技術員の栽培指導レベル向上	② 県下での統一講習会の開催、合同販売の強化	② 年 5 回開催

課題（2）新品種の試作による優良品種の選定と、メーカーと連携した育種・種苗確保

課題	対策	令和 7 年度目標
① 優良種苗確保の継続的な取り組み ② 生産性の高い品種の導入推進	① 種苗生産地オランダで種苗会社（ブリーダー）との情報交換と有望品種候補の選定を、本会の業務として確立する ② 試作圃場での優良品種選定と展示公開による検討 ③ 種苗品種説明会の開催 ④ 導入品種の個別面談による品種相談会の実施	① オランダの種苗メーカーでの試作品種選定 ② 県内 2 か所での優良品種試作と展示圃公開 ③ 4 J A での品種検討会開催 ④ 花き購買種苗 供給高 2.6 億円

重点目標Ⅱ．花き広域営農技術員の設置および花き共計販売に向けた検討

目標１．広域営農技術員の配置

課題（１）広域指導体制（東信地区）の検討

課題	対策	令和７年度目標
①各ＪＡにおける花き事業の取扱額減少による人員削減 ②花き事業の経営収支改善（合理化）	①３ＪＡの方向性を改めて確認（ＪＡ、中央会、事業所） ②３ＪＡへ提案された農林中金の経営改善案の再確認・検討 ③ＪＡ別強化品目の設定と取り扱い目標の設定・推進 ④運営経費、営農技術員の設置検討（費用配分）	広域指導体制（東信地区）の検討

課題（２）広域指導体制（東信地区以外）の検討

課題	対策	令和７年度目標
①各ＪＡにおける花き事業の取扱額減少による人員削減 ②花き事業の経営収支改善（合理化）	①ＪＡ別強化品目の設定と取扱目標の設定・推進（実績確保） ②各ＪＡの花き事業における経営収支実態調査	継続検討

目標２．花き共計販売にむけた検討

課題（１）東信地区共計販売体制の検討

課題	対策	令和７年度目標
①共計販売の有利性の整理	①共計販売による優位性を実証 ②県内、県外他産地の共計販売先進地事例の研究	①県内共計事例２か所研究 ②他県産地の共計事例２か所研究
②出荷規格の不統一	①新たな全県統一出荷規格を設定	①新出荷規格２品目設定（共計可能品目の仮設定）
③経費設定の不統一	①現出荷経費の調査と整理、新出荷経費の試算	

目標３．生産振興品目の拡大、技術普及を目的とした生産振興部との連携による

県本部生産農場の検討

課題（１）生産振興部と連携した候補地、栽培作物検討

課題	対策	令和７年度目標
①生産振興部との連携による生産農場の検討	①生産農場運営のための調査項目洗い出し ②生産農場運営事例の調査・視察 ③調査項目に基づく品目別経営実態調査（県内生産者等） ④先進事例調査による運営方法、栽培品目、生産地などの検討 ⑤ＪＡが運営する子会社等との連携検討	生産農場の検討

